

当面する諸案件を報告

大網白里市議会第2回定例会 市長事務報告

6月1日から21日まで、市議会第2回定例会が開催されました。開会日に市長から事務報告がありましたので、概要を掲載します。なお、可決議案等詳細は市ホームページをご覧ください。

財政

平成29年度会計の決算規模は、一般会計歳出ペースで155億円程度、実質収支は5億円程度を見込んでいます。歳入では、市税は前年度並みとなる見通しであり、予算額は確保できるものと見込んでいます。また、歳出では、保育所への給付費の増加や児童福祉施設の整備、大網中学校給食施設の整備に伴い、民生費と教育費が前年度を上回る見込みです。

みどりが丘市有地を活用した出産・子育てを支援するまちづくり事業

(仮称)子育て交流センターの整備について、これまで本体施設の建設工事や敷地造成、外構などに要する事業費の精査を行うとともに、国や県からの補助金の確保に向け協議を進めてきましたが、先般、補助金の一つである「次世代育成支援対策施設整備交付金」につき、厚生労働省から対象事業として採択されました。また、事業の整備手法として、設計・施工を民間事業者に一括して発注するデザインビルド方式を採用し、事業提案の募集を開始しました。事業者からの提案をもとに、今後、選考委員会において審

防災関係

四木13区地内に予定している築山については、地権者のご協力により、計画どおり建設用地を確保することができ、年度内の完成に向け、工事発注の準備を進めています。また、防災訓練の一環として、5月10日に職員を対象とした災害初動対応訓練を実施しました。このほか、本年度は、7月29日(日)に餅木・金谷郷地区の一部を対象に土砂災害避難訓練を、9月30日(日)に瑞穂小学校を会場に総合防災訓練を、11月11日(日)に白里地区および福岡地区の一部を対象に津波避難訓練を実施する予定です。



▲昨年の防災訓練の様子

公共交通

コミュニティバスについては、4月から運行ダイヤ・ル

ートの一部見直しを行うとともに、新たに運転免許自主返納者に対する割引制度を設けた上で、引き続き小湊鉄道(株)に運行を委託しました。また、白里地区の公共交通対策については、区内を循環するバスの導入に向け、地元の代表者で構成されるワーキンググループにおいて具体的な運行ルートやダイヤの案について協議していただき、この案をより運行事業者の選定を行いました。この結果、運行事業者には秋葉タクシー(有)が選定されたことから、同社と本年10月からの運行開始に向け、必要な手続きを進めます。なお、大網ロータリークラブから寄附の申し出をいただいた大網病院前バス停の待合所は、3月から供用を開始しました。

子育て支援

保護者の就労等により、保育施設の利用希望者は年々増加する一方、公立幼稚園では、利用者数の減少により全ての園で定員割れが生じています。また、幼稚園等の施設の老朽化も顕著となっており、施設の改修時に必要となる多額の財政負担を含め、今後の公立幼稚園と公立保育所をどうすべきかが重要な課題です。私立を含めた市内の幼稚園・保育所の現状と課題、地域ごと

社会福祉

生活困窮者の生活上の相談や就労先の紹介など、本人の状況に応じた適切な支援を行い、困窮状態からの早期脱却を図ることを目的として生活困窮者自立相談支援事業を行っています。本事業は、本年度より新たに「NPO法人リンク」に委託し、利便性や相談環境の向上に努めながら事業を進めています。

高齢者福祉

6月30日、本市の姉妹町である中之条町において十数年にわたり、「歩き」と「病気の予防」の関係に関する調査・研究活動を行う青柳幸利氏を講師に迎え、「1日8,000歩、早歩き20分、上手に歩いて病気を防ごう」をテーマに介護予防普及啓発講演会を開催しました。また、6月

国民健康保険

1日から、高齢者の見守り活動の一環として、GPSを活用した高齢者の位置情報サービス導入費用の助成を開始しました。この制度は、認知症などにより徘徊し行動をとるおそれのある高齢者にGPS発信機を所持してもらうことで、徘徊し時間における事故の防止と早期の居場所確認、さらには介護する方の負担の軽減を図ることを目的としています。

健康づくり

昨年度から取り組んでいる「健康ポイント事業」については、より若い世代の方々にも健康への関心をもっていただけよう40歳以上としていた参加対象年齢を20歳以上に引き上げました。また、市の健康づくり施策の一環として、本市の水産加工品を幼児健診などの参加者に提供する試みを行っています。この水産加工品は、「千葉ブランド水産物」として県の認定を受けた「煮干し」、「田作り」の2品目で、栄養面でも優れた食品であることから、市の特産品のPRを兼ねて提供しています。市民の皆さんには、地場産業の育成と健康増進の面から、積極的に食卓のメニューに取り入れていただきたいと考えています。

駅周辺整備

大網駅東土地区画整理事業は、千葉銀行前交差点からアミリィ前交差点までを結ぶ「都市計画道路大網駅東中央線」の11月開通を目指し、整備を進めています。また、ご理解を得られていない権利者に対し、移転または除却期限を11月末日と定め通知しました。協議が調わない場合には、土地区画整理法の規定に基づく直接施行により、市が除却工事等を実施します。なお、平成32年度の事業完了後は、同地区を新市街地としてわかりやすく親しみやすい町名へ変更する予定であり、新しい町名については、市民の皆さんから案を募集し、決定します。また、大網駅前広場の整備については、JR側から通路屋根を駅舎に接続することはできないという結論が示されました。また、駅前広場の整備に当たり、広場内のJR用地の購入を求められましたが、条件面で調整がつかず、継続協議となっています。引き続き、JRと協議を進めていくとともに、実施設計の見直しも検討します。

スマートインターチェンジ

国民健康保険の広域化に伴う保険料は、県から示された納付金およびこれに対する標準保険料率などの確定値をもとに算定した結果、改定後の本市の保険税額は、現行税額に比べ、1人当たり年額で1,600円程度の減額となる見込みです。

小中池公園

小中池公園の再整備構想については、小中池公園再整備構想検討委員会での4回にわたる会議を経て、4月25日に再整備構想の素案を決定しました。今後、この素案に対するパブリックコメントを実施し、市民の皆さんからご意見を伺った上で、魅力ある小中池公園の基本構想を策定します。



▲小中池公園

生活環境

事業用太陽光発電設備については、事業者に対し、市への事前協議や地域住民への説明会を義務付ける「太陽光発電設備の設置および管理に関するガイドライン」を策定し、4月1日より運用を開始しました。このガイドラインに基づき、事業者に適正な工事施工や維持管理について指導、

市営住宅

市営住宅管理の基本方針に基づき、市営住宅の管理に当たっての中・長期的なコストの縮減と平準化を目指す「市営住宅長寿命化計画」を策定しました。この計画に基づき、市営住宅の適切かつ効率的な施設管理に努めます。

姉妹町交流

本市の姉妹町である群馬県中之条町とは、平成31年2月に姉妹町締結40周年を迎えます。中之条町では、これに先立ち、7月5日(木)に40周年記念式典を開催します。本市でも、両市町の次世代を担う子どもたちの交流を深めるため、8月2日(木)・3日(金)の2日間に行ったり、子ども交流事業を実施します。

休日等の窓口サービス

市民の皆さんの利便性向上を図るため、住民票、印鑑登録および戸籍にかかる諸証明、マイナンバーカードの交付など、毎月最終日(の)8時30分から17時15分まで市民課の窓口を開庁します。また、これと併せ、毎週(木)に行っている夜間延長窓口で、従来から扱っていた印鑑登録や諸証明の発行に加え、マイナンバーカードの交付を取り扱います。